



科学の眼

まなこ

発行:姫路科学館 (〒671-2222 姫路市青山 1470-15 電話:079-267-3961)

<https://www.city.himeji.lg.jp/atom/>

生物シリーズ

2021 年度の野鳥観察記録

姫路科学館周辺の野鳥

Wild birds around Himeji City Science Museum

姫路科学館 専門員 森田 俊司

姫路科学館周辺は雑木林や竹林に囲まれ、農業用ため池の上池^{うわいけ}が隣接しています。2019年度から継続して野鳥の観察調査を行い（早朝と夜間の調査は実施せず）、2021年度は75種を記録しました（外来種を含む）。

■姫路科学館周辺で確認した野鳥（2021年度）

※ 留：1年を通して見られる /夏：春から夏、初秋まで見られる /冬：秋から冬、初春まで見られる
/旅：春と秋の渡りの一時期に見られる /外：外来種 /●印：2021年度に新しく確認した種

科名	種名	留	冬	夏	旅	外	●
カモ科	オシドリ	留	冬				
	ヨシガモ	留	冬				
	ヒドリガモ	留	冬				
	マガモ	留	冬				
	カルガモ	留	冬				
	トモエガモ	留	冬				
	コガモ	留	冬				
	ホシハジロ	留	冬				
	キンクロハジロ	留	冬				
	ミコアイサ	留	冬				
カイツブリ科	カイツブリ	留					
ハト科	キジバト	留					
ウ科	カワウ	留					
サギ科	ゴイサギ	留					
	●ササゴイ	留	夏				
クイナ科	オオバン	留	冬				
カッコウ科	ホトトギス	留		夏			
チドリ科	コチドリ	留		夏			
シギ科	イソシギ	留					
ミサゴ科	ミサゴ	留					
タカ科	ハチクマ	留			旅		
	トビ	留					
	ハイタカ	留			冬		
	オオタカ	留					
フクロウ科	フクロウ	留					
サシバ	サシバ	留			旅		
ノスリ	ノスリ	留			冬		

32	カワセミ科	カワセミ	留	54	メジロ科	メジロ	留
33	キツツキ科	コゲラ	留	55	ヨシキリ科	オオヨシキリ	夏
34		アオゲラ	留	56	ムクドリ科	ムクドリ	留
35	ハヤブサ科	●ハヤブサ	留	57	ヒタキ科	トラツグミ	冬
36	サンショウクイ科	サンショウクイ	留	58		シロハラ	冬
37	カササギヒタキ科	サンコウチョウ	夏	59		ツグミ	冬
38	モズ科	モズ	留	60		ルリビタキ	冬
39	カラス科	カケス	冬	61		ジョウビタキ	冬
40		ハシボソガラス	留	62		イソヒヨドリ	留
41		ハシブトガラス	留	63		コサメビタキ	夏
42	キクイタダキ科	キクイタダキ	冬	64	キビタキ	夏	
43	シジュウカラ科	ヤマガラ	留	65	スズメ科	スズメ	留
44		シジュウカラ	留	66	セキレイ科	キセキレイ	留
45	ツバメ科	ツバメ	夏	67		ハクセキレイ	留
46		コシアカツバメ	夏	68		セグロセキレイ	留
47		イワツバメ	留	69	アトリ科	アトリ	冬
48	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留	70		カワラヒワ	留
49	ウグイス科	ウグイス	留	71		シメ	冬
50	エナガ科	エナガ	留	72		イカル	留
51	ムシクイ科	メボソムシクイ	旅	73	ホオジロ科	ホオジロ	留
52		エゾムシクイ	旅	74		アオジ	冬
53		センダイムシクイ	夏	75	キジ科	コジュケイ	外

○調査期間：2021年4月～2022年3月（1年間）

○調査場所：姫路科学館～青山小学校までの道路を歩いて往復し、確認できた野鳥を記録。

○調査結果

今回の調査を通して、科学館周辺では市街地の近くにもかかわらず猛禽類がよく見られること、キビタキやホオジロなど繁殖する野鳥が多いことが分かりました。また、食べ物が少なくなる冬の時期に街路樹の実（クロガネモチ）がヒヨドリやツグミなどの貴重な食料になっており、人間が作った環境を鳥たちはうまく利用していました。



トラツグミ（2022.2.19撮影）

3年間で94種を記録しました（科学の眼 No. 553、568 参照）。これは兵庫県内で記録のある379種（外来種を含む。兵庫県鳥類リスト 2013 参照）の約4分の1に相当します。播磨の身近な里山でこれだけの種が見られます。今後も新しい発見を求めて継続して観察を続けていきます。